

APRW(Asia Pacific Regional Workshop)/JASPARC(Junior Asia Pacific Regional Conference)

報告書

国際理事 藤田英子

■ **開催期間:** 2004年12月29日(水)～2005年1月3日(月)

■ **開催地:** 日本(九州)

■ **開催場所:**

12月29日～12月31日 国立夜須高原青年自然の家(福岡県朝倉郡)

12月31日～1月3日 グローバルアリーナ(福岡県宗像市)

■ **参加費用:** APRW(250ドル+10ドル) JASPARC(190ドル+10ドル)

*日本人の場合 31,200円/24,000円

■ **テーマ:**

"the Magical power of friendship" アジア太平洋地区の連帯を強化し友情の絆を強め、ワークショップやアクティビティを通じて国、性別、年齢等の隔たりを越えて CISV の精神を改めて認識する。

■ **参加国(人数):**

オーストラリア(3)・カンボジア(2)・中国(6)・コスタリカ(1)・エジプト(1)・インド(2)・インドネシア(29)・日本(30)・モンゴル(2)・ネパール(1)・ニュージーランド(1)・フィリピン(14)・シンガポール(1)・韓国(5)・タイ(24)・アメリカ(1)・ベトナム(2)

総勢 125名(うち JASPARC 56名/APRW 69名)*現地スタッフは含まず

■ **日本の参加者 計 30名(JASPARC 13名/APRW 17名)** *日本協会助成参加 支部助成参加

[関東支部(12名)]

(JASPARC)*中田晋平 *藤田佳織 新井満理弥 島田信隆

(APRW) 山内道子 *五十嵐朝青 今西淳子 坂田麻緒 斉藤晋太郎 *島田采子 清水忠明 *藤田英子

[東海(4名)]

(APRW)*宇佐美友加 岡居太郎 岡居亜紀子 横山憲司

[関西支部(7名)]

(JASPARC)井上恵理子 *近藤茉莉香(APRW)奥谷龍 奥谷智子 *楠本昌代 徳永亜季 *早川玲子

[九州支部(7名)]

(JASPARC)小川灯 黒岩智彦 伴大樹 東本よう子 藤吉小春 三河尻綾華 渡辺真理

■ **現地スタッフ(15名)**

上野久世 内田裕司 加納まきこ 河合真理 黒岩真理子 西茂雄 東本綾子 小川 清文 見明豪
宮里かをり 龍恒子 名取由起子 小林順 中田葉子 石橋永理

■ **ワークショップの内容並びに担当者**

Train the Trainer Program(Alvaro, Costa Rica/Mark, Phil.): JB 指導者養成、指導者養成者の育成

Leadership Program(Pam Kinsman, Australia/Reiko, Japan): ビレッジ、指導者養成

CISV101Program(Saiko, Japan/Jiro, Thailand): アジア太平洋地区の CISV 情勢と発展、CISV 入門

Summer Camp(Basma, Egypt/Hideko, Japan): サマーキャンプ参加、開催についての指導

JASPARC(James, USA/Becky, New Zealand/Trisha, Phil.): JB 育成

■ **通常のスケジュール**

| | |
|----------------------------|----------------------------|
| 07:00-09:00 朝食 | 15:30-15:45 休憩 |
| 09:00-10:30 ワークショップ | 15:45-17:15 講演・分科会・アクティビティ |
| 10:30-10:45 休憩 | 17:30-19:00 夕食 |
| 10:45-12:15 ワークショップ | 19:00-20:30 会議(講演・アクティビティ) |
| 12:15-14:00 昼食 | 20:30～ ミーティング |
| 14:00-15:30 講演・分科会・アクティビティ | |

■ **特別スケジュール**

12/28 担当者スタッフの打ち合わせ(APRW 会場にて)

12/29 午前 参加者のチェックイン・午後 ゲスト講演者による講演・夜 AP/JB Development

12/30 午後 チームビルディング(Mark)・夜 Cultural Sensitivities(Jiro)・国際理事会議

12/31 午後 サイトの移動とショッピング・夜 Welcome パーティを兼ねた大晦日パーティ・年越しのイベント参加

1/1 午後 オープンティ(Cultural Day)・夜 Peace Activity(Hisayo, JPN)

1/2 午前 リスクマネジメント(Alvaro/Pam)・午後 Conflict Handling(Pam)・Strategic Planning(Alvaro) AIM2005(Jiro)・夜 Farewell パーティ

1/3 午前 APRW ミーティング(Junko, JPN)・エバリュエーション(Hisayo)・昼食後、解散



ロゴマーク

■ 報告事項

年末年始での開催であったにもかかわらず、日本からの参加者は30名、また、年末のスマトラ沖大地震の影響もなく、予定どおり総勢125名が参加した。

サイトの移動日に大雪が降り、移動と同時に予定されていた観光がキャンセルになった。一時は、バスでの移動さえ、危ぶまれたが、スタッフや大会関係者の努力のお陰で、第2会場に無事に移動できた。しかし、今回の大雪は、雪を見たいと言っていたアジア諸国の人達にとっては、幸運だったかもしれない。

日本開催ではあったが、年末年始のためか、参加者を限定する程の申込みはなかった。元日に各国が踊り、歌などを披露する催し(オープンディ)があり、日本人参加者は全員でマツケンサンバを披露した。

大晦日は会場(グローバルアリーナ)の行事として野外でカウントダウンイベントがあり、ステージでの催しや屋台が準備され、年が変わると同時に花火大会が行われた。参加者は、そのイベントへの参加が可能で、それぞれに楽しい年越しが出来ていたと感じる。

参加者の様子からアジア圏の国々におけるCISV活動が日本に比べより盛んであると感じた。CISV全体のプログラムでは各地域からバランスをとって、参加国や参加者の招待を行っている。日本が招待を断っても、そこを補充できる国が増えつつあるということで、今後、日本がキャンセルするような事態が続くとリクエストした通りのプログラム数が配分されないのではないかと感じた。

多くの参加数からもわかるように、インドネシアやタイのジュニアは日本に非常に興味があり、日本とのインターチェンジを強く希望していた。日本は、アジア諸国とのインターチェンジの可能性をもっと、検討するべきではないかと思う。

第二回アジア太平洋地域国際理事ミーティングが開催された。(下記に別途報告)

この報告書とともに日本協会助成による参加者の報告書は日本協会HPに掲載。

■ APTG(Asia Pacific Trustees' Gathering 国際理事会議)報告

今後のJASPARC/APRW開催予定

2006 フィリピン/2007 ニュージーランド(オーストラリア)/2008 インドネシア/2009 年韓国(未定)/2010 インド(未定)

国際会議(AIM)開催予定

2005年 タイ/2010年 フィリピン

今年度の国際会議がタイで開催されるにあたり、同じ地域の国々からの多数の参加と協力の呼びかけがあった。

次年度フィリピンでのJASPARC/APRWにおいて開催予定(希望)のワークショップ

- Train the trainers
- Leadership trainers
- CISV101
- Interchange
- Seminar Camp

今後、参加費にUS\$10を上乗せし、それを各国ジュニア代表(NJR)の参加費と地区コーディネーターの参加費+旅費の50%にあてることを正式決定した。

APRW/JASPARCは本来、地域の集りであるが、地域外のCISV会員が参加希望する場合は、必ず、主催国に連絡し、地区コーディネーターが調整する。又、国際委員会のメンバーは自費での参加なら常に可能とする。

2005 年度 APRW 参加報告書

報告者: CISV 東海支部 宇佐美友加
< サポートスタッフとして参加 >

日 程: 2004 年 12 月 29 日 ~ 2005 年 1 月 3 日

開催支部: CISV 九州 福岡

参加 国 : 中国、インドネシア、日本、韓国、モンゴル、ニュージーランド、フィリピン、タイ、ベトナム
オーストラリア、カンボジア、インド、ネパール、シンガポール、アメリカ、コスタリカ、エジプト

内 容: “Magical Power of Friendship” ~ 友情を力に変える! ~ と題して、アジア・太平洋地域の国々から
会員を中心に参加者が集まり、研修や会議などを行い平和教育として多岐に渡る幅広い内容の研修
(リーダーシップ、指導者養成、リスクマネジメント、異文化交流、紛争解決 等)を行う。

* サポートスタッフとしての役割

日本各支部から 1 人ずつ派遣スタッフとして参加し、APRW の企画・運営の手伝いを行う。

担当役割報告

APRW サポートスタッフとして、グッズ販売、参加者名簿チェック、セクレタリーとしての雑務等を担当しました。
事前の準備としてはメールにてサポートを行い、APRW 開催中は分科会 (Leadership) のセッションに参加しながら
議事録、セッションサポートを主に行いました。

感想

分科会 (Leadership) に参加して

CISV のリーダーとしてだけでなく、スタッフ、役員などあらゆる立場において不可欠な Leadership のあり方について、話し合いやアクティビティを通じて深く学べたと思います。一緒に受けた仲間がとても素晴らしく、みんながしっかりとした“学ぶ姿勢”で意見を出し合っていたことが、このセッションをより充実させることになったと思います。

“Communication”セッションを日本の指導者養成部会として担当して

最終的に Communication の目的は国際理解でとどまらず、個々を理解する民際理解をする必要があるとみんな
で確信したセッションでした。挨拶の違いや、価値観の違いなどを認識すると同時に、共通点も見出すことができ、
企画した段階よりもっと幅広い内容になったと思います。最後に色々な国の言葉で CISV ソングを歌ったことは何
よりも深い印象的な思い出になりました。

サポートスタッフとして参加して

準備段階では、メールだけのやり取りだったため、なかなか参加することはできませんでしたが、APRW では“九
州支部のみなさんの温かい受け入れ”によって、本当にスムーズに参加させていただくことができました。実際に
セッションに参加させてもらったり、運営・企画をお手伝いさせていただくことによって、より深く APRW を体感し、
“人々を心から愛すること”が CISV の基本理念である世界平和につながることを実感しました。

本当に今回の APRW では多くのことを学びました。貴重な機会を頂きましたことを、こころより感謝致します。
今後はこの感動をより多くの人々と分け合っていきたいと思います。どうもありがとうございました。

APRW 参加報告

楠本昌代

今までのビレッジスタッフ等の経験を生かしてお手伝いできればと、今回助っ人スタッフとして参加させてもらった。遠隔地在住のためメールでのコミュニケーションが殆どで、なかなか運営全体の流れを具体的に把握できなかった。しかし、事前に一度だけだったがミーティングに出席でき、実際に委員会の皆さんやスタッフにお会いして色々情報を得られたことは大変参考になり、スタッフとしてのやる気を燃え上がらせてくれた。

スタッフとしての役割は食事関係が主であったが、短期間のため、徐々に慣れてゆくという訳にはいかなかった。毎日走り方を工夫して、全力疾走をしているような感じである。しかし、他のスタッフがサポートしてくれたのでなんとか完走することができた。前半の施設ではセッションの都合上スナックが離れた3カ所になったのも、準備と撤収に他のスタッフの手助けがあったためスムーズに運んだ。忙しいスタッフルームや夜中の風呂場で色々語り合ったのも良い思い出である。

JASPARC と一緒になった APRW に参加するのは初めてだったので、大人数であるのに最初とまどってしまったが、アジア太平洋諸国からのたくさんの若い人たちが熱心に語り交流している姿を見るのは、「CISV の次世代は安泰だなあ・・・」と頼もしく思えた。また、過去プロモーションに関わった、インドネシアやモンゴルからたくさん参加者が来ているのも、私にとっては嬉しいことであった。セッションには残念ながらほとんど出られなかったのが、他の参加者と交流するチャンスはあまりなかったのだが、最終日に輪になって取り囲んで「ありがとうございました！」と言って下さったのは、本当にうれしかった。雪と花火と寒さのなかでの今回の APRW & JASPARC は参加者にずっと語り継がれるものになると思う。

施設の使用時間の制限や、期間中の会場移動等、様々な制約の中で、ここまで成功できたのは、まさしく九州支部の皆様の一丸となった尽力とチームワークによるものだと思う。助っ人を受け入れて貴重な体験をするチャンスをくださった九州支部に心から感謝したい。そしてこの経験をこれからの CISV に活動にぜひ生かしてゆきたい。

JASPARC&APRW 2005 エバリュエーションシート(委員会・スタッフ用)

名前：

担当：あてはまるもの全てに を付けてください。

委員会 委員長/副委員長 会計 コーディネーター 寄付金 備品 物品寄付 会場設備
プログラム 民泊 送迎 食事 グッズ 行事 医療・保険 冊子編集
スタッフ コーディネーター 行事 医療 衛生 施設 備品 コンタクト・ツ 食事 送迎
民泊 会計 グッズ プログラム セレクター 受付 12/31 搬出搬入

自分の担当の委員会・スタッフ役割について

<事前準備>

あまり関わらずMLだけで情報を得ていた状態。個人的にはメールだけだとイメージがわきにくい気がしたが、致し方ない部分もあると思う。メールで出来る協力やアイデアの提供ももっと出来た気がします。もうすこし事前の準備にもかかわりたかった。

<期間中>

体調がよくなかった時期もあったが、各イベントごとに元気になりました。
食事に関しては、あまりマサヨの役には立てなかった気がして心残りです。
参加者が楽しんでくれていたのが何よりの喜びです。

<他委員会・他スタッフとの連携・協力>

他のスタッフの皆さんは、皆さんとても楽しく明るく、一緒にいてとても気持ちのいい空間でした。僕もあまりきっちりとものごとをこなしていくというタイプではないのですが、それも受け入れてくださり、大変嬉しかったです。
組織図が分からないのですが、他委員会の方も全体として皆様本当に好意的におてつだいくださったように感じました。

ホスト全体として(自分の役割以外のところで気がついたこと)

<事前準備>あまり関われなくて申し訳ありませんでしたが、皆さんMLを通じてよく連絡を取られていたと思います。ただMLに頼りすぎず、実際に集まって話し合うということの有用性も生かしていければますます密でスピードある決定が出来るかもしれません。ハンドベルは素晴らしかったです。

あと、事前に出来る修了証の作成などは忙しくなる期間中までにやっておくといいかもしれません。

<期間中>

みなさんハードワークおつかれさまでした。

個人的には役割をしっかりと明確に分けて、いつまでに誰が責任者となってやるかを具体的にしておけば、よりスムーズな運営が出来たと思います。

すばらしいと思ったのは、スタッフのみなさんが大変なときにも笑顔を絶やさず、カリカリせずにとっても暖かい雰囲気最後まで仕事をなさっていたことです。

感動しました。

その他何でも

また皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。

かをり本当にいろいろとありがとう

朝青

お疲れ様でした!!!&ご協力ありがとうございました!!!

APRW 報告書

今回、日本で、開かれた APRW に、101ワークショップのサポーターとして参加させていただきました。ありがとうございます。ひさしぶりに参加したアジア太平洋地域での会議はとても有意義なものでした。

101ワークショップ

ファシリテーター:ジロー、オン(サポーター)、今西淳子、島田さい子(サポーター)

参加者:30名ほど。(国の名前)

目的:101ワークショップとは、これから、CISV を立ち上げてゆく人、参加者をサポートするボランティア、親、家族を対象としたワークショップでした。

資料:CISV Core Educational Content (Info-file), CISV リーダーシップ関連資料。

セッションアウトライン: セッションスタイル:CISV の哲学、考え方、教育方法などについて理解してもらおう目的がありました。今回のワークショップでは、理論とアクティビティーなどを通してセッションが勧められました。

内容: EDR Educational Principles Workshop にそってワークショップが進められました。しかし、内容を正確に伝えるため、最終的には、INFOFILE の CISV Educational Principles が配布されました。

セッションの必要性:101ワークショップは、アジア太平洋地域の CISV 活性化に不可欠なワークショップだと今回思いました。CISV は、いろいろな方のサポートによって団体がなっています。それを考えると、CISV の哲学、教育方法、歴史、アプローチ、アクティビティーなどについて、より多くの人に知ってもらうことは、大切なことだと思いました。

APRW

ひさしぶりに、参加したアジア太平洋地域会議では、昔、一緒に JASPARC、APRW に参加していた人達が、それぞれのスタイルで成長し、リーダーシップをとっていました。アジア太平洋地域会議では、国際会議だからといってあるひとつのスタイルをスタンダードにするのではなく、参加国、参加者の国柄、文化、考え方、生き方などを感じ取りながら会議に参加できる安心できる場所になっていたと私は考えます。

理想なのは、APRW や JASPARC で、このユニークな会議のありかたをぜひ、これからの CISV の国際運営に生かして行くことです。それをするには、それなりのワークショップや、案、また、人材も必要とすると考えます。日本協会もぜひ、今年のように、日本からたくさんの人を派遣してください。

文責: 島田さい子